

5/16

まちの未来を考える 洞爺湖温泉小がSDGs教室

洞 爺湖温泉小学校（柴田暦章校長）において、SDGs講師による授業が行われました。道環境生活部が主催している「北海道フロンティアキッズ育成事業」の一環で、将来的に地域を牽引する持続可能な社会のリーダーの育成を目的としています。自然を守りながらまちののにぎわいを作り出す方法をテーマに、児童は「農家の野菜をリサイクル品と一緒に売って観光客を増やそう」などとアイデアを出し合っていました。



SDGsについて学ぶ児童

5/14

美しいまちづくりに貢献 洞爺LCが清掃ボランティア

洞 爺ライオンズクラブ（山戸準也会長）が、月浦森林自然公園周辺で清掃ボランティアを行いました。ライオンズクラブ国際協会331-C地区の「環境に奉仕する日」に合わせた活動で22人が参加しました。火ばさみなどを手に集まった参加者は、公園周辺の道路を約2キロに渡って清掃し、40リットルのゴミ袋3枚がペットボトルなどですっきりになりました。



清掃活動中の洞爺ライオンズクラブの会員

5/24

洞爺湖の魅力を伝えるために 虻高3年生が遊覧船乗船研修

虻 田高校（千葉佳貴校長）の3年生15人が、洞爺湖上を運航する遊覧船で乗船研修を行いました。船上から中島や有珠山の位置関係を見たり、船内アナウンスの内容をメモしたりしました。また、中島・湖の森博物館を見学し、洞爺湖の歴史や、自然についても学習していました。この研修は秋に行う観光ガイド体験に向けてのもので、研修で学んだ知識を基に、ガイド内容を検討します。



ガイド体験に向けてメモを取る生徒

5/23

地元の農産物を知る とうや小5年生田植え体験

と うや小学校（山下文人校長）の5年生11人が、財田地区にある塩田満さんの水田で田植え体験を行いました。児童たちに、地元の農産物へ興味・関心を持つてもらったため、総合的な学習として実施しました。児童を代表して田植え機に乗った中川丈太郎くんは「思ってたより上手く動かせました」と話しました。また、全員で裸足で水田に入り、土の感触を楽しみながら田植えをしました。



笑顔で苗を植える児童